

令和5年度東京都立小平西高等学校 学校経営計画

I スクールミッション

知性と感性に富んだ創造力を育て、自主性と社会性に裏付けられた協調の精神を養い、生命を尊び、健やかな心身を育成します。全ての教育活動において多様な考えに基づいた活動を体験させ、持続可能な社会の形成者としての自律心と国際社会を見据えながら地域連携の視点も大切にしながら自らの未来を切り拓く確固たる自信を醸成し、学びに向かう姿勢を育成します。

II スクール・ポリシー

○グラデュエーション・ポリシー

学力と人間力（人間性、社会性）を育むとともに多様な考えを受け入れ、地域社会に貢献し国際社会に通用する人を育てる。

○アドミッション・ポリシー

将来を見据え、社会を構成する一員としての自覚を持ち、自ら考えることによって課題解決することに粘り強く努力できる人材を求める。

○カリキュラム・ポリシー

新時代（Society5.0・AIの文明）の要請を受け入れるとともに知・徳・体のバランスを考慮し、生涯にわたって持続的に学ぶことができる教養の土台を身に付ける。

III 目指す学校像

- ◎社会の形成者として自律した生活を営む力を育てる学校。
- ◎多様性を理解し、他者への尊厳を受け入れることができる人格を育てる学校。
- ◎多角的で広い視野を持つグローバルな視点を持ち、国際社会に対応できる人材を育成する学校。

IV 中期的目標と方策

学習指導	【主体的・対話的な深い学びを定着させる】
	1 生徒の主体的に学ぶ姿勢を育成し、生徒を主語とした授業の構築を行う。
	2 授業力向上の校内研修を行い、協働的な学習を定着させる。
	3 思考力、判断力、表現力を育成し、教科横断的な教育課程を再構築する。
	4 ICT 機器を活用し、一人1台端末を活用した学習指導を導入し実践する。
進路指導	【4年制大学進学実績を伸ばし、将来を見据えた進路実現を図る】
	1 全ての教員が関わり1学年から計画的な進路指導を実現する。
	2 キャリア・パスポートを引き継ぎ、生徒が将来像を描けるようにする。
	3 個に応じた指導として分析会、三者面談、保護者会を活用し、指導の充実を図る。
	4 オープンキャンパス、インターンシップなど体験的な活動を必ず実施する。
特別活動	【知・徳・体のバランスを取れた指導】
	1 生徒が主体的に部活動・行事を企画運営し、学年を超えた組織的活動を指導する。
	2 授業、行事、部活動のバランスを考慮し、生徒の自主性や帰属意識を育てる。
	3 ボランティア活動を実施し、奉仕の精神を涵養し、社会性を育成する。

生活指導	【生徒に自主性をもたせ自立できる生徒の育成を図る】
	1 授業や HR 等で視聴覚教材等を活用しながら SOS の出し方に関する教育を推進する。 2 基本的生活習慣を確立させ、安心・安全な学校生活が送れるよう環境を整備する。 3 SNS の活用にあたり、人権を尊重し、いじめを未然に防止する技能を育成する。
防災教育 安全教育	【防災に対する自助、共助の精神を醸成する。自転車の交通事故を防止する】
	1 防災に関する技能を育成し、地域との連携を図り、防災の拠点となるよう整備する。 2 学校安全計画に基づき地震、火災、水害の安全対策、避難訓練を計画する。 3 交通事故を未然に防ぐ対策を講じ、自転車による交通安全の事故をなくす。
学校保健	【生命尊重、健康、安全指導、組織的な特別支援の支援体制を構築する】
	1 生命の尊重、健康づくりを目的とした安全衛生の確保に係る指導を徹底する。 2 環境整備に努め、清掃活動を徹底し、清潔で明るい学習環境をつくる。 3 特別な支援を必要とする生徒への支援体制を学校全体で組織的に構築する。 4 運動の習慣を取り入れ、身体的・精神的に健康で活力に満ちた生活習慣を育成する。
募集活動 広報活動	【開かれた学校づくりを推進する。募集倍率を伸ばす】
	1 積極的に広報するとともに、近隣小学校や中学校、地域へ学校 P R を発信する。 2 授業公開や学校開放事業などを通して開かれた学校づくりを推進する。 3 学校 H P を活用した広報活動を積極的に行う。
学校経営	【法令を遵守し、働き甲斐のある職場環境の整備と地域から信頼される職務を遂行する】
	1 職場のコンプライアンス向上を目指し校務分掌(委員会等)の業務を横断的に遂行する。 2 全ての職員は企画型・経営参画型の運営を目指し、職種や専門性に応じた業務を行う。 3 体罰を禁止するなど教育公務員として法令を遵守し、地域から信頼される職務遂行を実現する。 4 教員の健康保持の実現とやりがいをもって職務に従事できる職場環境を整備する。

IV 今年度の取り組み目標と方策

1 教育活動の目標と方策

(1) 学習指導

- ・思考力、判断力、表現力の向上を目指し、生徒を主語とした授業から探究を中心とした学習計画を企画し、生徒の主体的な授業への取組を 80%以上達成させる
- ・主体的・対話的で深い学びを定着させるためにグループ学習を導入する。
- ・大学での授業につながる普通科の専門性を意欲的に学べるような授業計画を実践する。
- ・ICT 機器を活用し、生徒が一人 1 台端末を取り入れた学びが習慣化できるよう授業を計画する。

(2) 進路指導

- ・進路決定率 100%を目指し、進路指導部を中心に生徒個々の分析会を実施する。
- ・4 年制大学進学希望者を増やす。初期指導から分析会、説明会を数多く行い、生徒の進路希望を高める指導を行う。
- ・教員の専門分野以外でも進路指導ができるよう研修を能動的に受講し、生徒一人一人の実態に即した進路指導ができるようにする。

(3) 特別活動

- ・体験、交流、発見ができる特別活動を企画し、社会人としての人間性・社会性を育てる。

- ・部活動加入率 90%以上を目指すとともに部活動として準ずる活動とボランティアとしての体験的な活動の機会を生徒に与え実践させる。
- ・生徒が主体となって帰属意識をもてるように全員が参加できる行事を検討する。
- ・部活動の所属する意識を高める活動を企画し、異校種の連携や地域との連携を行う。

(4) 生活指導

- ・生徒が自ら考え、進んで規則を守っていけるような規範意識を育てる機会をつくる。
- ・校則を生徒とともに考え高校生としての身だしなみや社会のルールやマナーを学ばせ、生徒心得に反映させる。視聴覚教材を活用するなど SOS の出し方に関する教育を推進する。
- ・生活習慣を整えるために学校生活のスタート時間を揃える。1 年間の延べ遅刻数を 2,500 以内とする。個別指導と家庭への協力体制を構築する。
- ・情報モラル教育の機会を設け、携帯電話等の使用基準の違反者をなくす。
- ・いじめ防止対策として SNS に関して情報モラルを学ばせる機会をつくる。
- ・いじめ防止対策として多様性を理解し、人権の尊厳を考える機会をつくる。

(5) 防災教育

- ・体験的な防災教育を計画し、地震、火災、水害の基礎的知識を学び、自助、共助の在り方をすべての生徒に理解させる。
- ・地域の防災拠点として防災訓練、防災講話、協議会の機会を設定し、防災訓練に率先して行える行動力を育てる。

(6) 学校保健

- ・新型コロナウイルス感染防止対策と新たな健康被害に対応する生活習慣の在り方を提示する。
- ・特別支援教育を理解し、インクルーシブ教育を念頭に教育活動を行う。
- ・体力テストで運動習慣を睡眠・休息・食事の摂り方から生活習慣を見直し、がん教育や性教育など健康に関わる課題を克服し、生涯を通して、健康で活力に満ちた生活をデザインする。

(7) 募集・広報活動

- ・最新の情報を発信するためにホームページを最大限に活用する。
- ・学校見学会、学校説明会、中学校訪問、塾訪問等の機会を通じて、学校の情報提供を行う。

(8) 教育相談

- ・特別支援に関する委員会活動
障害のある生徒への個に応じた指導・支援を計画的かつ一体的に充実させていくために、教育相談委員会を年間 10 回以上開催し、学校生活支援シート及び個別指導計画の作成と活用する。

(9) 学校経営

- ・コンプライアンスを念頭に置き、法令を遵守し、体罰は行わない。また、都立高等学校の教職員として社会的な良識と、ライフ・ワーク・バランスを考えて専門性を生かした業務を遂行する。
- ・地域からの信頼を得られるように窓口対応、電話対応、来校者への心配りを全員で行う。
- ・ICT 機器を積極的に活用し、教育機器の活用レベルを全体で上げられるように各自で研鑽する。
- ・働き方改革、会議のペーパーレス化と育児、介護への参加しやすい環境づくりを推奨する。

2 重点目標と方策

ア 新学習指導要領の年次進行に伴い、個別最適な学びと協働的な学びを実施し、生徒を主語にした授業を

展開し、授業満足度をさらに上げる。

イ 一人1台端末の購入によりデジタル技術を活用した教育活動として、ICT 機器の活用を向上させる。

ウ 健康体力の向上を目指し、生活習慣の改善と学校の魅力づくりを推進するために部活動の加入率を上げる取り組みを実現させる。

重点項目と目標値				
目標項目		目標値	実績値	
			令和3年度	令和4年度
学習指導	主体的な授業ができたと思う生徒の割合	80%以上	76.4%	—
	ペーパーレス化ができた授業の割合	50%以上	19.3%	—
	土日家庭学習時間 2時間以上	20%以上	9.0%	—
	自習室利用者数	1000人以上	1000	(800人)
進路指導	進路指導満足度	80%以上	84.7%	80.9%
	大学センター試験出願者数	120人以上	124人	118人
	日東駒専レベル以上大学合格者数	10人以上	13名	18名
	就職決定率	100%	100%	100%
特別活動の指導	学校行事満足度	80%以上	91.8%	87.0%
	部活動加入率	90%以上	82.8%	72%
	上位大会進出（都大会ベスト32以上）	5部以上	2部	3部
	地域貢献活動	5件以上	0件	2件
生活指導	生活指導のきまりへの理解度 生徒	90%以上	87.7%	90.7%
	生活指導のきまりへの理解度 保護者	90%以上	90.3%	89.9%
安全・保健指導	清掃に関する満足度	60%以上	55.0%	—
	特別支援教育委員会開催回数	8回以上	7回	6回
募集・広報活動	ホームページ更新回数	350回以上	340回	164回
	入試応募倍率 推薦	3.0倍以上	2.6倍	3.07倍
	入試応募倍率 一般	1.2倍以上	0.99倍	1.27倍
	学校見学者数（延べ）	2000名以上	951人	1935名
学校経営	本校に入学して良かったと思う生徒	80%以上	71.9%	77.4%
	本校に入学して良かったと思う保護者	80%以上	83.4%	86.0%
	指導が行き届いたと思う教員	80%以上	79.1%	76.8%